

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年 8月14日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年 8月14日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【体調不良者の発生について】 増設多核種除去設備保守管理作業に従事していた協力企業作業員1名が熱中症(Ⅰ)を発症。構内救急医療室にて処置を実施。	GⅡ
2	【雑固体廃棄物焼却設備排ガス補助ブロアB出口逆止弁保温材からの水の滴下について】 排ガス補助ブロアB逆止弁(F087B)の保温材より水の滴下(10秒に1滴程度)を確認。滴下水は汚染が無いことを確認し、現在、受け容器にて回収中。 今後、保温材を外し点検を実施。	GⅢ